

●水稲共済関係

(引 受)

区分	項目		引受面積	引受収量	共済金額	徴収共済掛金 (A)	交付金 (B)	手持共済掛金 (A)+(B)
	組合員数							
	人	a		kg	円	円	円	円
水 稲	(実) 13,709		2,601,498.2	89,840,378	16,363,241,136	15,620,176	13,555,101	29,175,277
内 訳	一筆方式	(実) 13,645	2,591,818.3	89,840,378	16,281,141,766	15,318,321	13,357,544	28,675,865
	品質方式	64	9,679.9		82,099,370	301,855	197,557	499,412

水 稲 ○ 前年対比：引受面積 100.8%

- 引受概況：平成30年産水稲の引受面積は、前年に比べ213ha増加した。要因としては、国からの米の生産数量目標の配分が廃止となり、作付面積が175ha増加したことによるものである。
また、引受面積の増加により共済金額は148,758千円増加した。引受方式別の割合（組合員数）は、一筆方式が全体の99.6%を占め、品質方式は年々減少している。

(被 害)

区分	項目		共済減収量	生産金額減少額	共済金	$\frac{\text{共済金}}{\text{共済金額}}$	備 考
	被害組合員数	支払対象面積					
	人	a	kg	円	円	%	
水 稲	(実) 406	20,387.8	456,469	-	40,940,604	0.3	
内 訳	一筆方式	(実) 401	19,895.8	453,417		40,814,133	0.3
	品質方式	5	492.0	3,052	126,471	126,471	0.2

水 稲 ○ 被害概況：7月5日の豪雨、台風20、21号の影響で、一部地域で圃場内の土砂流入や冠水が見られた。また、9月上旬から中旬にかけ降雨が続いたことで県下全域において倒伏が発生した。7月9日の梅雨明け以降、降雨のない日が続き、一部圃場で水不足となり被害となった。また、県下全域において、イノシシ・シカによる倒伏及び食害が発生した。

(支 払)

区分	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					$\frac{\text{実支払共済金}}{\text{共済金}}$
			保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
	平成 年 月 日	円	円	円	円	円	円	%
水 稲		40,940,604	0	29,175,277	11,765,327	0	0	100.0
内 訳	一筆方式	30.12.20		29,175,277	11,765,327	0	0	100.0
	品質方式	30.12.20	126,471					100.0